

自作教具の活用事例

【作品名】 わたしは だれでしょう	【学校名】 日立市立久慈小学校
【活用できる領域・教科等】 自立活動	【制作者名】 白仁田 京子
【制作の意図】 児童にとって身近にある物の絵(写真), 単語カードを活用する。 絵又は写真と文字をマッチングさせながら, 語彙を増やしていくことができるようにする。	【使用の方法】 出題者がシャッフルしたカードを引く。引いたカードを見ながら, 「私は誰でしょう。」と相手に伝える。 ヒントは「〇つまで」と最初に児童と決めておく。 ヒントを聞きながら解答者は答える。間違えたら, 出題者は一つ目のヒントよりもより詳しいヒントを出す。 正解が出たら, 出題者と解答者が一緒にカードの文字を声に出して発音する。
【制作上の工夫】 学習意欲を高めるために, 実物を準備して写真を撮り, プリントアウトして活用した。 児童の身近にあり, 知っている, 言葉で説明しやすい実物を選ぶように心がけた。 絵(写真)だけではなく, カードの端にテプラで打った平仮名の文字も貼り付けておく。視覚的にもとらえやすいようにした。	【見取り図】 写真のサイズは2 L判サイズが扱いやすい。台紙を板目表紙にするのであれば, ラミネートする必要はない。
【写真】 	【使用効果と応用発展】 カードを見ながら引いたカードの物の特徴等ゲーム感覚で相手に伝えることができる。 絵単語カードの課題音を変えることにより, 様々な音に対応することができる。
【材料・材質・部品等】 板目表紙 カード用の実物 (イラストにするのであればクレヨン, マジック等) デジカメ 2 L判サイズ光沢紙 ラミネート テプラ	